

# 建材マンズリー

Kenzai Monthly

特集

## 建設業の人材育成を考える

好木心

“小江戸”川越の時を知らせる 時の鐘  
(埼玉県川越市)

付加価値創造に挑戦 注目企業を訪ねる  
株式会社飯田

今月のニュース  
建材マンズリー資料室



# 建設業の 人材育成 を考える



震災復興や景気回復による需要の増加に伴い、大工や型枠工など建設技能者の不足がクローズアップされている。現在、現場は中高年の熟練職人たちによって支えられているが、若者の建設業界への入職の先細りは看過できない。次世代に技術承継がされないままの10年、20年先は、優れた技能と経験を持った建設技能者の不足がさらに深刻化するだろう。今号では職人不足の現状を分析し、先進的に人材確保・育成に取り組む企業、職業訓練校を紹介する。

## 職人不足で入札不調が続く

東京新聞の調査によると、東日本大震災の被災三県の復興住宅建設が、2014年1月末時点で計画の約3%しか完成していないという。遅れの原因の一つは入札の不調だ。資材高騰に加え、人手不足とそれに伴う労賃の高騰が入札不調をもたらしている。その影響はスポーツ施設や新庁舎の建設など、全国各地の公共工事にも広がっている。

これから本番を迎える国の「国土強靱化計画」による公共工事の拡大、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた施設建設の増加など、建設業界はますます活況を呈していくだろう。しかし、以前から指摘されていた人手不足は深刻化の様相を見せている。

## 減り続ける人材

人手不足は、特に大工や型枠工、鉄筋工などの建設技能労働者（建設技能者）の絶対数の不足が大きな問題となっている。2014年2月の建設労働需給調査では、指標としている8職種\*すべてが不足傾向だという。また、不足と回答した企業の約4割が「技能者を確保できる見通しは暗い」と答えている。

建設技能者はこの20年間で73万人減少し、2012年は335万人と



国土交通省の建設産業戦略的広報推進協議会が展開する「建設現場へGO！」(http://genba-go.jp/)

てこないのが次世代への技術継承ができなくなり、熟練した技能労働者がいなくなるという大きな問題を抱えることになる。

## 60歳以上が引退する10年後

現在、60歳以上の建設技能者は約52万人いるが、10年後にはその大半が引退することになるだろう。この穴を埋めるには、若者の入職者を確保して建設技能者に育て上げなければならぬ。一人前の技能者になるには、職種にもよるがおおむね10年かかるといわれる。技能者の育成

は、今や待ったなしの課題となっている。

## 技能者の確保・育成対策

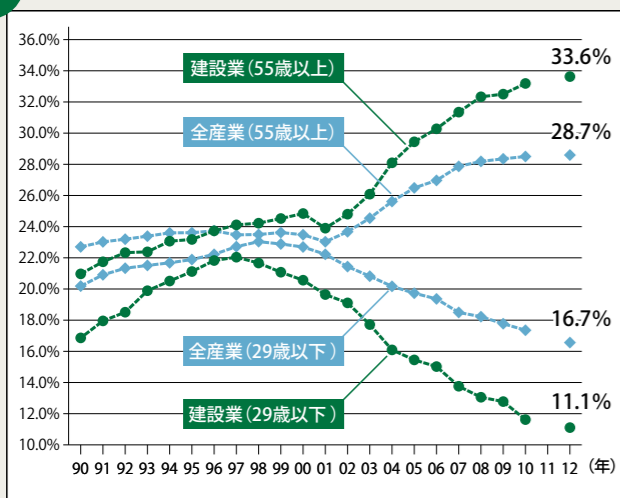
建設業界の人材不足に関して、国土交通省と厚生労働省は連携して、2013年6月に改善策を提示した。人材確保策としては、建設産業の魅力アピールする「建設現場へGO!」のHPを開設。

人材育成施策としては、「ものづくりマイスター制度」を活用した若年技能者の実技指導などを行っている。厚生労働省の補助金などで行われ

る「職業訓練施設」での教育・訓練は、建設技能者の育成に大きな役割を果たしてきた。しかし最近はこの訓練校も訓練生が集まらないという共通の問題を抱えている。訓練内容

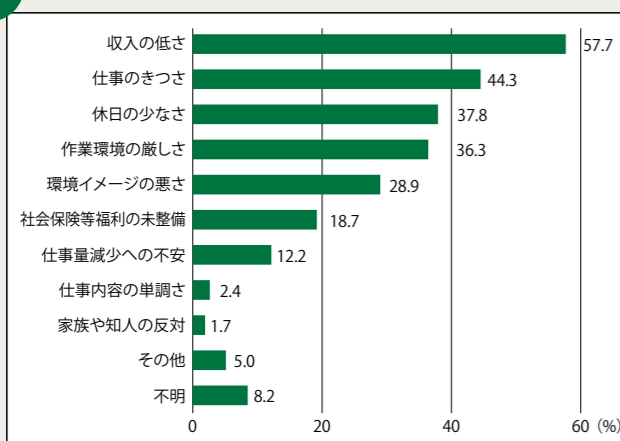
が実用的・効果的でない、事業主が訓練に出す余裕がなくなったなどが要因として挙げられる。従って、職業訓練施設の共同化や広域化などによる機能強化が今後求められる。また、企業が独自で自社の建設技能者育成に乗りだしているところもある。現在の復興需要や五輪特需が終わった後に人手不足が一時的に緩和したとしても、少子高齢化の中、将来さらに深刻な人手不足になることは目に見えている。先送りすることなく若い人材の確保・育成が企業にも求められている。

図1 建設業就業者の高齢化



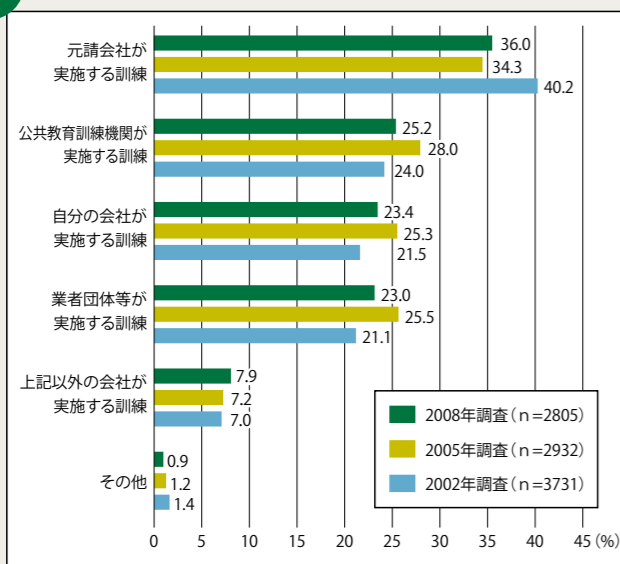
出所：総務省「労働力調査年報」  
\*2011年については東日本大震災の影響により不明。

図2 若者が建設業界に入職しない原因



出所：建設産業専門団体連合会「建設技能労働力の確保に関する調査報告書」(2007年3月)  
\*調査対象は建設産業専門団体連合会の会員団体に加盟する会社およびその下請会社。回答社数は584社。

図3 建設業における教育・訓練の実施主体



出所：国土交通省「建設技能労働者の就労状況等に関する調査」(2009年3月)

\* 建設技能労働者8職種…型枠工(土木)、型枠工(建築)、左官、とび工、鉄筋工(土木)、鉄筋工(建築)、電工、配管工

# 多能工育成や職場環境の改善で 建設業界の未来を担う人材を養成

建設業界における職人不足問題が叫ばれる中、独自の活動で問題解決を図る企業や団体もある。ここでは、3つのケースを紹介する。



株式会社平成建設  
代表取締役社長  
秋元久雄氏

## ケース1 「内製化システム」で、200名超の職人を育成

木造注文住宅や賃貸マンションの建設、リフォームなどを行う株式会社平成建設（静岡県沼津市）は、建設業への大学生就職希望ランキングで、大手ゼネコンと肩を並べ、毎年トップテンにランキングしている。入社希望者は年を追うごとに増え続け、今年は700名に面接して53名が入社した。その半数が大工、技能工の職人志望だ。

同社は1989年の創業以来、内製化を事業の基本に据え、職人を自社で育成してきた。その数は社員の約4割を占める200名を超え、若手からベテランまで揃った一大職人集団を形成している。

必要な職人はアウトソーシングで賄うスタイルが一般的な建設業界で、職人の社員化や教育への投資は経営に大きな負担をかける可能性がある。それをあえて実践してきた理由は、秋元久雄社長の危機感と、日本の木造文化を支えてきた「大工」への深い思い入れがあった。



現場ではベテランが若手社員を指導



宮大工が大工を指導する勉強会を実施

「は、実はこれからなんです」  
将来を見据え、25年間、地道に分たちの手で職人を育ててきたのだ。  
**創意工夫を発揮できる大工とオールマイティの多能工**

秋元社長には、もう一つの考えがあった。それは大工の復権だ。「決められた寸法にカットされた建材を取り付けるだけではなく、自分の知恵や創意工夫を発揮できる本来の大工を目指せと、社員に言い続けてきました」

こうした独自の経営スタイルに興味を示した大卒や大学院卒の就職希望者が、15年ほど前から全国から集まり始めた。新入男子社員は営業志望も職人志望も入社と同時に工務部に配属され、運搬や足場組みなど現場の力仕事で1年間汗をかく。仕事を教えるのは入社3年目の先輩だ。

新入社員は入社2年目までに希望職種に配属され、大工や技能工の修業を始める。この時、大工志望者は初めて玄翁\*を持たせてもらう。「大工は10年で一人前の一年生」と秋元社長は語るが、同社の10年選手は、ほかの会社では一人以上の技能と知恵を身に付けているという。また、技能工は基礎、土木、型枠、足場、鉄筋などあらゆる建設技能を身に付けた多能工として教育される。

平成建設における多能工は基礎、土工、型枠、足場、鉄筋の5つ。 \* 頭の両端にとがりのない金づち。



職業訓練法人  
全国建設産業教育訓練協会  
富士教育訓練センター 専務理事  
菅井文明氏

## ケース2 業界のニーズを重視して、現場で役立つ教育訓練

かつて旧建設省（現国土交通省）が建設大学校静岡朝霧校を置いた跡地を利用して、1997年に開校したのが、建設技術者・技能者の教育訓練施設である富士教育訓練センター（静岡県富士宮市）だ。運営は職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会が行っている。

「当センターの特徴は、専門工事業が建設大学校静岡朝霧校を置いた跡地を利用して、1997年に開校したのが、建設技術者・技能者の教育訓練施設である富士教育訓練センター（静岡県富士宮市）だ。運営は職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会が行っている。

や建設関連企業など、33の全国団体が母体となっていることです。そのため、教育訓練に関しては公的な資格取得を目標とするコースなどもありませんが、それだけにこだわらず、業界が今どのような人材を求めているのか、現場からの声を反映させた多様なカリキュラムを用意しています」

こう説明するのは、同センターの菅井文明専務理事だ。総合建設業向けのコースが中心だが、一方戸建て住宅の新築需要が頭打ちとなる中、注目が集まるリフォーム需要に対応するため設置されたのが「リフォームコース」だ。リフォームなどの内装工事の施工ができる人材を育成する「リフォーム内装施工コース」や、配管工事の知識と技能を習得して住居系配管工事の施工ができる人材を育成する「リフォーム建築配管コース」などが設けられている。

また、開校当初から力を入れてるのが多能工の育成だ。「ひとりですさまざまな工程を請け負うことができる多能工を育成することとは、時代のニーズとなっています。開校当初から開設している多能工コースは、全部で8つのコースに分けられています。例えば建築基礎多能工コースの場合、46日間の訓練日程でとびや型枠施工などの基礎を学び、コンクリート打設や鉄骨建方、そしてボードやクロス貼りなど



広い敷地内では足場の組み立て訓練もできる

## ◆ 住友林業建築技術専門学校 ◆



実物大の平屋建モデル棟建築による実習訓練

### 基礎から実践技能まで 木造住宅の専門家を育成

1988年開校の住友林業建築技術専門学校（千葉県四街道市）は、家づくりに関する技能・技術者の育成を行う住友林業の企業内訓練校だ。ここで訓練を受ける人は、「住友林業の家」の施工専門会社である住友林業ホームエンジニアリング（株）

「職人を育てるには長い時間がかかります。教育投資も半端なものじゃない。同業者からはみな、リスクが高すぎる、仕事がないときにはどうするんだ、と言われました。しかし、10年後や20年後を考えたら、内製化をやらない方が遙かにリスクが大きいです。昨今、職人が足りないとい騒いでいますが、現在主力の60〜70代の職人が現場からいなくなり、職人が本場に不足する時代が来るのフォーラムに関する技能も習得して、小規模の建設工事ができる人材を育成します」

### 若い人には仕事の面白さや意義を伝えることが大事

同センターの受講者は、数年の実務経験を積んだ人やベテランもいるが、その多くが新入社員であるという。もちろん、同センターのカリキュ



体育館では墨付けの練習が行われていた

に入社後、訓練生として派遣される。同校では、木造住宅建築において長い歴史を持つ住友林業が蓄積したノウハウを生かし、伝統的な在来工法から最も近代的な工法までを幅広く訓練生に伝授する。「心・技・体」バランスの取れた技能者の養成」を目指した独自の訓練カリキュラムにより、家づくりのスペシャリストを育てている。

講師を務めるのは経験豊かなベテラン技能・技術者で、一級技能士の資格取得者が常勤している。生徒7〜8名に1人の担任を付ける体制で、きめ細かな指導を行う。また、訓練生活では、2人1部屋の寮生活を原則とし、社会人としての規律や行動を身に付けるためのマナー教育にも力を入れている。



株式会社三共  
代表取締役社長

真田孝範氏

ケース3

将来のキャリアプランを用意し  
とび職の育成に注力

戸建住宅を中心に「セブン足場」として建設現場の足場施工事業を全国展開する株式会社三共(大阪市)

ラムを修了したからといって、すぐに現場の即戦力になるとはいえないと菅井氏は話す。しかし、一通りの経験を積めること、そして何より、同世代の仲間たちと学ぶ時間が、彼らに仕事に対する心構えを持たせることにつながっている。

「訓練の修了間際になると、この業界で生きていく覚悟ができた」。同じ目標を持つ多くの仲間がいることを心強く思った。など、生徒は非常に頼もしくなります。近頃の若い者は仕事が続かないと嘆く声が聞かれますが、仕事の意義や面白さを伝えていないことが原因だと私は思っています」

訓練費用には助成金を活用できるため、事業主の負担はわずかです。また、同センターでは新人社員のほか、保護者の見学会も実施している。



職人を集めた会議「STC」の様子。職人に仕事の誇りやビジョンを持ってもらうのに役立つ

は、いわゆるとび職の人材育成に力を入れている。

三共でも職人不足は大きな問題となっていた。真田孝範社長は、その危機感を次のように語る。

「建設業全体の就業者数が減り、かつ若いとび職人が建設業界に入っていない状態が続いています」

そこで三共では、とび職人の待遇改善、建設現場の作業環境や意識の改革、将来のキャリアプラン構築などの施策を行うなど、職人問題に真つ向から取り組んでいる。

真田社長は、10年以上前から、とび職人の金髪やピアス、だぼだぼのズボンなど、業界内ではそう珍しくはないが外から見れば非常識な「だらしな」格好の改善に努めてきた。三共の統一ユニフォームやヘルメツ

トを着用させ、現場の他のスタッフや近隣に挨拶をし、現場や周辺の掃除を徹底させている。これらの施策によって、とび職人自身の地位向上やイメージアップを図っている。

また、とび職人には、これまで長期のキャリアプランというものがなかった。三共では、キャリアプラン施策の一つとして「社内マイスター制度」を検討している。高齢の職人を技能に秀でたマイスターとして認定し、後進の指導・育成などに従事してもらおうと組みだ。これによって、将来もきちんとしたキャリアが用意されていることを若い人に知ってもらい、とび職への入職を促す効果を期待している。

また、安心して働く環境作りの一環として、三共では職人を集めた会議「STC (Sankyo Trust Community)」を開催。ここでは、三共の中期経営計画の説明や、施工コンテスタの表彰式などを行い、とび職人の将来を共に考え、足場の仕事に誇りとビジョンを持つてもらおうと活動も展開している。

さらに、職人不足に対応するためには、人材育成と合わせて、すでに働いている職人にいかに長く継続して仕事をしてもらうかも重要だ。

「若い人が業界に入ってくるようにするためには、やはり現場で支えてくれている人の労に報いることも大



さまざまな施策を通じて、とび職の人材確保につなげる

切です。例えば、待遇改善については、労務単価を引き上げ、付帯作業についても支払い額を見直しています。これが新たなとび職人の確保にもつながるのです」

長く仕事をしてもらうための施策として、従来の鋼製仮囲いをPVC(ポリ塩化ビニル)製に変更して軽量化を図ったり、足場施工用のリフトを開発して体力面でも施工面からも負担軽減に取り組んでいる。

「足場の施工ができなくなってきたら、仕事の確保することも安心して働ける職場環境としては大切です」

## 小江戸川越の 時を知らせる 時の鐘

写真 清水タケシ

撮影協力 川越市教育委員会



埼玉県  
川越市



### 鉄

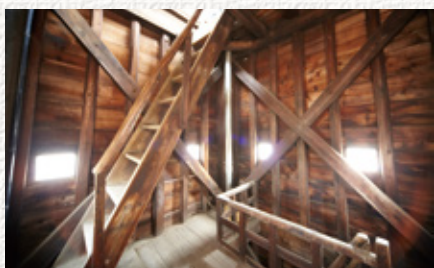
道5社の相互直通運転開始で、

川越市の観光客数は2013年に過去最多の630万人超を記録した。その人気観光スポットが川越のシンボルである鐘撞堂「時の鐘」だ。

江戸の風情を残した「蔵造の町並み」(1999年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定)に建つ。歴史は古く、江戸時代の初期に川越城主が建設したとされる。度重なる火災で焼失、再建を繰り返してきた。現在の櫓は1893年(明治26年)の「川越大火」の翌年に再建され、今年で120年目を迎えた。

櫓は木造銅板葺きで高さは約16メートル。4本の柱(約40センチ角の杉材)に鐘撞き台が組まれた形で、外壁は四面とも板壁。余分な装飾がなく、凜とした美しさが町並みと調和している。櫓の内部は三層からなる。通り抜けができるピロティ状の高床にかけられた梯子のような階段を上って第二層に上がると四畳半くらいの空間で、壁には太い筋交いがたすきに入っている。

建設当初の櫓は礎石の上に柱を置いた石場建。その後、鉄筋コンクリート造の基礎を設置したが、柱下部の腐食が見つかったため、近く耐震改修工事に着手する。現在も自動打鳴機で1日に4回、鐘が撞かれており、大晦日には除夜の鐘を鳴らすイベントも行われている。町の人々や観光客に見守られながら、これからも城下の面影を残す町並みで時を知らせ続ける。



\*内部は非公開

### 徹底的なお客様目線で 商品提案を行う 老舗の料理道具店

#### 株式会社 飯田

##### 最小ロットの商品発注で 少在庫を実現

——東京の浅草と上野の間、およそ800メートルの通りに170店舗あまりの調理・厨房器具を扱う専門店が建ち並ぶ「かつば橋道具街」。日本一の道具街と呼ばれるこの地で、大正元年から営業を続ける老舗の卸問屋が、株式会社飯田である。鍋やお玉、おろし金などのほか、料理道具全般を専門に扱うが、驚かされるのが各商品の種類の多さだ。



代表取締役社長  
飯田敬子氏

「例えば、計量スプーンといえば5ccや15ccなどが一般的ですが、当社の場合非常に小さな0.1ccから巨大な2000ccまで幅広く取りそろえています。また、ステンレス製やガラス製など素材の違う計量カップや、左利き用、両手利き用なども扱っています。計量スプーンひとつでそれほどの種類を置く必要があるのかと思われるでしょうが、どれもお客様からの要望を受けて取り扱いを始めたものです。特殊な商品は、たくさん売れることもあれば一度しか売れないこともあります(笑)。でもニーズがある以上置くことが当社のポリシー。飯田に行けば必ずあると思っただけに、ここに意義があるんです」

——同社では「ヒントノート」というものを書いている。店頭で「もっと粗く削れるおろし金はないか」「左利き用のキッチン鉢があると便利なの」などのお客様の声を拾うための「に」などのお客様の声を拾うためのもので、これをヒントに商品を仕入れる。お客様のニーズに最大限応えるための大切なツールだ。また、取り扱いが多品種でありながら、少在庫を実現している。



約1万点もの品ぞろえでお客様のニーズに応える



店内いたるところにあるポップ。「ポップは“しゃべらないセールスマン”なんです」(飯田専務)

は、同業者がひしめくかつば橋道具街でも群を抜いている。

「週に一度、社員全員による勉強会も行っています。今週はフライパン、来週はおろし金などと商品を決め、新商品の機能に関する知識から各道具の流行、そしてお客様がどんな状況でどんな調理をするためにその商品をお求めになったのかなど、あらゆる情報を共有し合います。また、実際に自分で商品を購入して、使用感を確かめています。料理道具の最新知識だけでなく、使い心地や利便性を把握するなど、常に“お客様目線”を持つことで、一般の方だけでなくプロの料理人も満足させる商品提案に役立っていると思います」

##### 他店にない品ぞろえで どんな要望にも応える店に

——同社が現在のように料理道具の専門店となったのは、昭和30年代である。

「大正元年にこの地で建具屋として



計量スプーンは0.1ccから2000ccまでそろえている



トンガだけでも数十種類を用意

出発し、その後は食肉の消費増大を受け、精肉店専門の道具店として生まれ変わりました。その後、飲食店で必要なもの、例えば白衣から食器、メニューブックや装飾用の提灯まで、あらゆるものを取り扱うようになったんです。ところがこの形態だと、商品ごとの種類が増やしていく。景気の良い時代には商品は回転していましたが、長引く不況の中で不良在庫が増加し、経営は厳しくなっていました」

——そこで料理道具の種類の絞り込みからディスプレイの変更まで大転機を振ったのが、2008年に専務取締役に就任した、現社長の息子である結太氏だ。

「天井まで積み上がっていた商品を一扫して、レイアウトをお客様の目の高さまで下げ、スチール棚をすべて温かみのある木の棚に替えました。あえて迷路のように陳列することで、商品を発見する楽しさも演出しています。これまであった商品の取り扱いを止めることは、長年支え

##### 専務取締役 飯田結太氏



ていたいただいたお客様に申し訳なく、勇気がいりました。しかしその分、お客様からのどんな要望にも応えられるように、料理道具では他店にはない品ぞろえにすると決意しました。以降、店で道具を選ぶのが楽しい“こんなに便利な道具があったとは”などの声をいただけるようになり、おかげさまで売上げは毎年前年比20%増を実現しています」

——お客様のニーズに最大限に応える。一方で過剰在庫はせず在庫リスクを小さくする。老舗の料理道具店の手法に、過剰在庫問題を解決するヒントがあるかもしれない。



大正時代のころの写真。当時は建具を扱っていた

#### 株式会社飯田

本社 ● 東京都台東区西浅草2-21-6  
創業 ● 1912年  
資本金 ● 1000万円  
従業員 ● 7名  
事業内容 ● 飲食店向け・一般向けの厨房機器・料理道具の卸売・小売業

## 2014年度「長期優良住宅化リフォーム推進事業」 補助金公募(4月25日～5月30日)始まる

2013年度補正予算で実施された既存住宅の「長期優良住宅化リフォーム推進事業」の2014年度公募が開始された。今回は評価基準に基づく公募に加え、独自の提案やより高いレベルの長期優良住宅化の取組みについても公募する。公募内容は以下の通り。

### (1) 評価基準に基づく長期優良住宅化リフォーム (評価基準型)

内容は2013年度補正予算版と同じ。評価基準に基づいて住宅性能の向上を図る。

### (2) 提案による長期優良住宅化リフォーム(提案型)

必ずしも評価基準では評価できない、高度な先導性・汎用性・独自性などを持った提案で長期優良住宅化リフォームの実現手法の提案を求める。例えば、「設計手法・工法・材料などの新技術の導入」、「地域独自の気候・風土への対応」、「低コストの実現手法」、「長期に性能を維持保全する仕組み」など。

提案に際しては次のことが求められる。

- ① 提案の概要と先導性・汎用性・独自性などを図表等で分かりやすく説明し、客観性のある検証結果を示す。
- ② 劣化対策、耐震性、省エネ性などの各評価項目についての措置と効果を記述する。

なお、劣化対策、耐震性については一定の性能向上が見込まれるA基準以上を満たすことが必要(劣化対策は場合によってA基準相当とすることも可能)。また、すべての評価項目で、新築の長期優良住宅と同程度の水準であるS基準相当の場合は、上限200万円/戸が可能となる。

採択事業決定は、(1)は6月下旬、(2)は7月中旬の予定。また、すべての評価項目でS基準を満たす長期優良住宅化リフォームへの補助事業(補助額:補助率1/3・上限200万円/戸)は、7月中をめどに公募開始の予定。

### < 2014年度「長期優良住宅化リフォーム推進事業」公募概要 >

公募内容: 評価基準型、提案型

補助額: 補助率1/3、上限100万円/戸  
(提案型のS基準相当の場合は上限200万円/戸が可能)

応募期間: 4月25日～5月30日18時(必着)

工事着手: 原則として2014年12月末まで

工事完了: 原則として2015年1月末まで

☆ 詳細は事務局ホームページ等をご参照ください

#### ◎ 問い合わせ先

長期優良住宅化リフォーム推進事業事務局

メール: qanda@choki-reform.com

電話: 03-5805-0522 FAX: 03-5805-0533

ホームページ: [http://www.kenken.go.jp/chouki\\_r/](http://www.kenken.go.jp/chouki_r/)

## 準耐火の木造老人ホームが竣工 一般流通材で躯体現しを実現

住友林業は、柱と梁を現しとする準耐火木造老人ホームプロジェクトに取り組んでおり、4月30日に竣工の運びとなった。

国土交通省が推進する「2012年度木造建築技術先導事業」に採択された同プロジェクトは、業界初の一般流通材を用いた構造躯体現しの準耐火建築物。

105mm角の柱を木受材や金物で補強した後に強化セッコウボードを施工したり、105mm幅の梁が露出する寸法を制限し、天井内に隠れる部分を耐火被覆した仕様を採用。小・中断面材で準耐火構造45分の性能を確保しながら、木造感・木質感を演出し、住み心地のよい高齢者の住まいを実現した。

約2500㎡の木造2階建て建物は、ラウンジだけでなく居

## —介護付有料老人ホーム 「チャーム四條畷」(大阪府)

室も梁が現しになっており、その木質感が高齢者に安心感を与える。また、フローリングは、歩行音、歩行感、転倒時の安全に配慮した木質床材を開発。クッション層を持つラウンジの浮き床は適度な柔らかさを保ち、歩いても疲れが少なく高齢者にやさしいつくりとなっている。

今回の試みを元に、今後、中・大規模の準耐火木造建設で、一般流通材を用いたコスト削減や、プレカット加工などの戸建住宅などへの技術活用が期待される。



### 編集室より

広告掲載・誌面に対するご意見、ご感想は  
建材マンスリー編集室専用アドレスまでお寄せください。

[kenzai-monthly@sfc.co.jp](mailto:kenzai-monthly@sfc.co.jp)

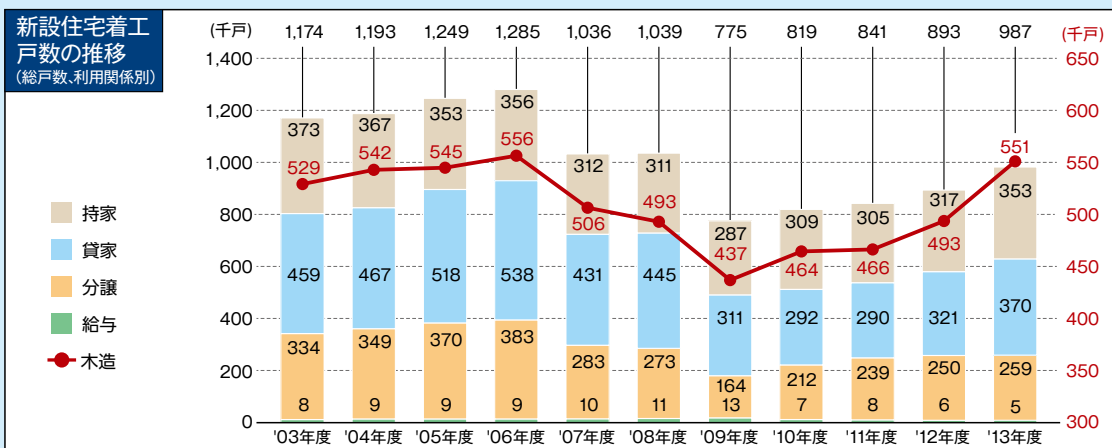
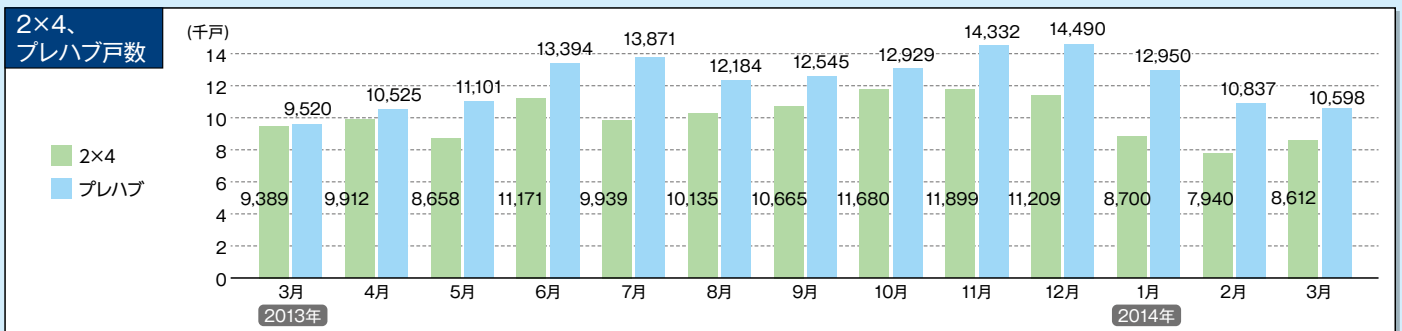
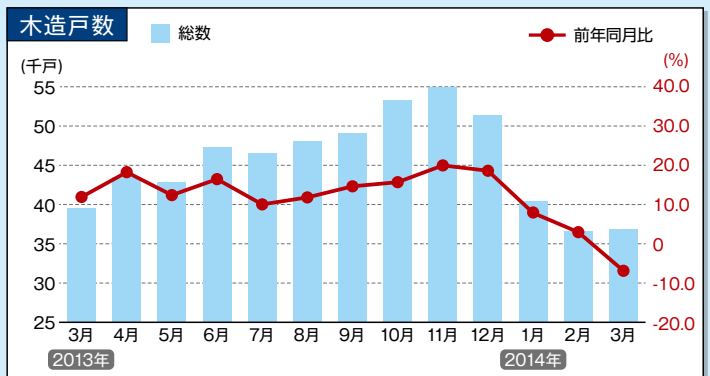
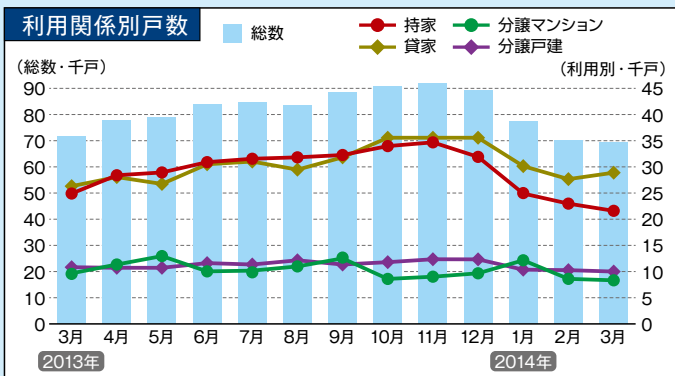
住友林業株式会社 木材建材事業本部 事業開発部

### 編集 集 後 記

実家(兵庫)の木造住宅をリフォームすることになりました。主に屋根・壁の塗替えて、70代半ばの母が悪戦苦闘しながら数社の見積りにとらめっ中。専門用語だらけの上、「一式」表記で、もはや何がなんだか分からない見積りが多い中、あるリフォーム会社さんの見積りは、要工事箇所の写真と平易な言葉で必要性を添えた解説がとても分かりやすく、母曰くとても好感が持てたとのこと。実際の技術やコストは分かりませんが、見積りのデザインひとつでお客さんに与える安心感が変わってくるものだと実感。(M)

2014年3月の新設住宅着工戸数 △は減

		3月					2月	1月	12月
		対前月比		対前年同月比					
<b>新設住宅計</b>		<b>69,411</b>	<b>△ 278</b>	<b>△ 0.4 (%)</b>	<b>△ 2,045</b>	<b>△ 2.9 (%)</b>	<b>69,689</b>	<b>77,843</b>	<b>89,578</b>
建築主別	公共	2,052	223	12.2	221	12.1	1,829	1,661	1,983
	民間	67,359	△ 501	△ 0.7	△ 2,266	△ 3.3	67,860	76,182	87,595
利用関係別	持家	21,650	△ 1,241	△ 5.4	△ 3,229	△ 13.0	22,891	24,955	31,858
	貸家	28,925	1,181	4.3	2,939	11.3	27,744	29,953	35,634
	給与住宅	368	△ 301	△ 45.0	△ 39	△ 9.6	669	355	184
	分譲住宅	18,468	83	0.5	△ 1,716	△ 8.5	18,385	22,580	21,902
	うちマンション	8,290	△ 384	△ 4.4	△ 1,286	△ 13.4	8,674	11,941	9,736
	うち戸建	10,044	390	4.0	△ 451	△ 4.3	9,654	10,530	12,026
資金別	民間資金	61,147	△ 822	△ 1.3	△ 771	△ 1.2	61,969	69,670	79,929
	公的資金	8,264	544	7.0	△ 1,274	△ 13.4	7,720	8,173	9,649
	公営住宅	1,942	175	9.9	258	15.3	1,767	914	1,502
	住宅金融支援機構住宅	3,535	221	6.7	△ 897	△ 20.2	3,314	3,602	4,158
	都市再生機構住宅	0	0	-	△ 80	△ 100.0	0	498	421
	その他住宅	2,787	148	5.6	△ 555	△ 16.6	2,639	3,159	3,568
構造別	木造	36,896	139	0.4	△ 2,741	△ 6.9	36,757	40,199	51,505
	非木造	32,515	△ 417	△ 1.3	696	2.2	32,932	37,644	38,073
	鉄骨鉄筋コンクリート造	664	516	348.6	274	70.3	148	19	268
	鉄筋コンクリート造	19,855	△ 420	△ 2.1	△ 471	△ 2.3	20,275	22,835	21,861
	鉄骨造	11,836	△ 527	△ 4.3	892	8.2	12,363	14,683	15,798
	コンクリートブロック造 その他	93 67	1 13	1.1 24.1	19 △ 18	25.7 △ 21.2	92 54	53 54	84 62



**2013年度  
新設住宅着工戸数は  
987,254戸。**

**前年度比  
プラス10.6%で  
4年連続の増加。**

(出典：国土交通省ホームページ [http://www.mlit.go.jp/statistics/details/jutaku\\_list.html](http://www.mlit.go.jp/statistics/details/jutaku_list.html))



暑い夏だけでなく  
寒い冬の暖房でも。

ホルムアルデヒドは

新築・リフォームなどで使用する

材料や家具などから発生しやすく、

さらに室内の温度上昇とともにその

発生量は多くなり、濃度も増加します。

また、換気不足によっても濃度の増加を

招きます。



知っていましたか？ホルムアルデヒドは

室温が高いと多く発生することを。

シックハウス症候群の代表的な原因物質



解決！ハイクリンボード。

ハイクリンボードなら

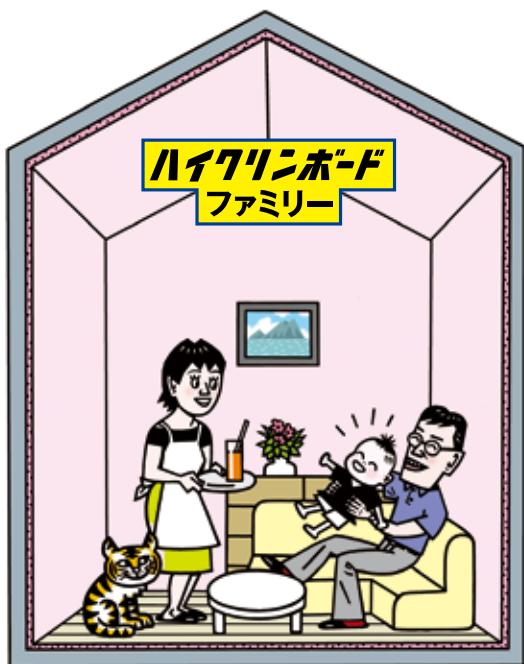
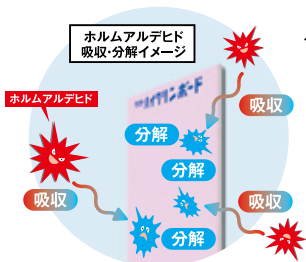
ホルムアルデヒドを

短時間で吸収・分解。

明るく健やかな

家庭づくりを

お手伝いします。



特許取得済【特許第4213365号】

きれいな空気環境づくりをお手伝い

# タイガーハイクリンボード

ホルムアルデヒド吸収・分解せっこうボード

- ◎ホルムアルデヒドを短時間で吸収・分解し、再放出しません。
- ◎ホルムアルデヒドの室内濃度が高くなった場合でも、厚生労働省の指針値 0.08ppm以下(当社測定による)とすることが可能です。
- ◎不燃性、施工の容易性など、せっこうボードの優れた性能はそのまま保持しています。

新商品

ハイクリン性能強化タイプ アセトアルデヒド濃度の低減に効果を発揮します

## タイガーハイクリンボードAce

ハイクリン性能を大幅にアップさせたことで、レギュラータイプでは難しかった高濃度のアセトアルデヒドを吸収分解することが可能です。また、ホルムアルデヒドの吸収分解性能も大幅に向上しています。

※受注生産品となります。



### YOSHINO

安全で快適な住空間を創る 吉野石膏

札幌支店/011-221-6465 北関東支店/048-643-6151 名古屋支店/052-223-2661 福岡支店/092-451-5315  
仙台支店/022-262-4421 東京支店/03-3216-1717 大阪支店/06-6449-1000 セラミック営業部/03-3216-2670  
新潟支店/025-245-7681 横浜支店/045-651-3541 広島支店/082-248-0494 DDセンター/03-3284-1181

【本社】 東京都千代田区丸の内3-3-1 新東京ビル 〒100-0005 <http://www.yoshino-gypsum.com>

ハイクリンボード

検索

